



第158号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話 (0561) 73-1111(代)

社会からの信頼に 応える学士力を！

学 院 長
小 出 忠 孝

新年明けましておめでとう
ございます。平成20年の新
春を皆様にはお健やかに迎え
られたこと、心よりお慶び
申し上げます。

愛知学院は本年創立一三二
周年を迎え、中部地区で最

とも古い歴史と伝統をもつ私
学となつています。大学は開
学五十四年ですが、将来の高等
教育の重要性を予見した小出
初代学院長の先見の明により、
東海地区で最つとも早く新制
大学を創設し、以来私立大の
リーダー校となつています。

本学は創設以来飛躍的に発展
し、現在文・商・経・法・総
合政策・心身科学・薬・歯の
八学部十七学科、大学院八研
究科、短大部に学生二万二千

「旭日重光章の栄誉」

昨年の叙勲で私は私学振
興の功績顕著により、私学人
の最高の栄誉である旭日重光
章受章の栄に浴しました。十
一月六日宮中に参内し勲記・



賀正

勲章が伝達され、続いて天皇
陛下に拝謁、親しくお祝いの
言葉を賜りました。この受章
は愛知学院の教育に対する功
績によるもので、私が代表し
て頂いたものであり、皆様のご
支援に心から御礼申し上げます。

以来二〇年間、本学の発展の
ため努めてきましたが、対外
的には私大協会副会長、私立
南大協会会長の他、私学事業
団、大学基準協会等の大学団
体の役員を、私学の代表とし
て務めてきました。文科省関
係では大学審議会委員として
大学の教育改革に参画したの
を始め、各種審議会委員、各
種委員会委員長を兼務し、高
等教育振興に尽くしてきました。

之の間の実績が高く評価さ
れた事に感謝すると同時に、
之を期にさらに努力する覚悟
を新たにします。

「学士力の充実」
わが国では「知識基盤社会」
の到来により、高等教育の重
要性が一層充ちまっています。
しかしながら十八才人口減少
による「大学全入」時代の到
来により、入学試験による入
学生の質保証の機能は大きく
低下しています。さらに大学
進学率が五〇%を超える現在、
入学生の多くがそのまま卒業
する傾向が続いており、卒業
生の学力低下が産業界から強
く指摘されています。この様
な状況から文科省の中央教育
審議会では、昨秋「学士課程の
再構築」に向けての審議経過
を発表し、社会からの信頼に
応え、国際通用性を備えた学
士課程教育の充実の必要性を
指摘しました。そして①入学
者の受入れ②教育課程の編成・
実施③学位授与についての3
つの方針を各大学は明確にし、
学士課程教育の学習成果(学

士力)の向上に努める様に提
言しました。大学の入口、在
学中、出口の管理を厳格に
し、卒業生が社会からの信頼
に応える事が出来る、学士力
を持つて社会で活躍出来る様
に、各大学に要請しており、
大学の責任は一層大きくなつ
ています。

「健康栄養学科新設」
本学では社会のニーズに対
応して昨年グローバル英語学
科、ビジネス情報学科、現代
企業学科を開設しましたが、
今春は文学部に宗教文化学科
心身科学部に健康栄養学科を
新設します。前者は宗教に関
する幅広い視野を養い、グロ
バル社会に対応できる人材を
育成するものです。後者は現
在国民の最大の要望である健
康長寿に対応し、栄養・食生
活の面から健康づくりを教育
研究する学科です。この学科
は歯・薬学部と連携しチーム
医療の一員として、病院等の
臨床現場で患者の治療に参画
する管理栄養士(臨床栄養士)
を養成するもので、従来の栄
養学科と異なり、医療系に強
いのが特徴とします。また大
学院心身科学研究科には健康
科学専攻を増設し、健康に関
する高度の研究を進めますが、
保健体育、養護教育の専修免
許も取得できる様になります。

この様に心身科学部を充実強
化し、歯・薬学部と共に地域
の医療系分野の、教育研究の
中心として社会に貢献して参
ります。

「教育環境の充実」
昨年より工事中の三号館耐
震リニューアル工事が昨年末
に完了し、グローバル英語学
科のL教室、ゼミ室、研究
室、臨床心理教育相談室、歴
史博物館等が完成しました。
また七号館の耐震リニューア
ル工事も、今春には完成しま
す。十四号館東に建設中の健
康栄養学科の実習棟も今春に
完成し、最新設備の実習室が
誕生します。また創立一三〇
周年記念で建設した学生ホ
ールは野球場を見下ろす景観の
いいホールとして好評で、学
生交流の場として活用されて
います。さらに第一食堂の新
設工事も昨年暮より着工し、
今秋に完成予定です。一階は
専門店フードコート(五〇〇
席)二階はカフェテリアコー
ト(七〇〇席)三階は多目的
ホール(六〇〇席)で、エス
カレータを設置する全面カー
テン・ウォールの斬新なデザ
インのレストランが出現し、
新しいシンボルとします。

「私学の厳しい環境」
現在の十八才人口の減少社
会は私学にとって極めて厳し
い環境であり、昨年入試で定
員割れの私立大は二二〇校(四
〇%)に達しています。また
国立大や東京・関西の有名私
大が定員の二〇・二〇%増の
学生を入学させる傾向にあり
、地方の私立大の定員割れは更
に増加してきます。さらに本
年は十八才人口が一三〇万を
切り、二二〇万台に減少する
ため、私学にとって一段と厳
しくなっています。

この様な厳しい環境の中で、
如何に努力し難局を乗り切る
か、私学に課せられた課題で
す。全教職員が危機意識を持
ち、学生の学力向上、卒業生
の質の保証に努める事が重要
で、社会からの評価を高め、
期待される大学にならなけれ
ばなりません。全学あげて学
生教育の充実強化に努め、こ
の厳しい時代を切り抜ける事
が出来ます様、年頭にあたり
全教職員に、一層のご協力を
お願いする次第です。

年頭に思う 改革と堅持

後援会 会長 若尾 治実



の新設、宗教学科の宗教文
化学科への名称変更が行わ
れます。

明けておめでとうござい
ます。大学教職員の皆様方、
一万二千名の大学後援会会員
の皆様方には、健やかで明る
い年を、ご家族共々お迎えの
こととお喜び申し上げます。

愛知学院大学は昭和二十八
年設立をされ本年度、五五年
を迎えます。

その長い歴史の中、本学院
は、常に社会が求める人材を
社会に送り出すという理念の
もと、その時代、時代に合っ
た改革、変更を行ってまいり
ました。

大学が設立された当時は、
日本経済の高度成長期と相ま
つて、社会が大学卒業者を大量
に必要とした時代でもありま
した。そうした時代背景の中
で、愛知学院大学も社会のニ
ーズに応えるべく、全ての学部
の定員を大幅に増やし、現在
の規模の大学へと発展してき
ました。

近年においては、急速な社
会の変化や進展に対応するた
めに、新しい学部・学科の増
設だけではなく、時代にマッ
チしなくなった学部・学科の
変更、廃止を積極的に行い、
来年度も新たに健康栄養学科

の生活ができる社会人を養
成するために、また今年も
学生諸君が安全で安心した
学園生活を送れるように様々
な支援、援助をしてまいり
たいと考えています。

今年も会員の皆様方には
後援会活動に一層の温かい
ご理解とご協力をお願い申
し上げます。

今年も皆様方にとってす
ばらしい年になりますよう
心よりお祈り申し上げます、新
春のご挨拶に変えさせていただきます。

今年も皆様方にとってす
ばらしい年になりますよう
心よりお祈り申し上げます、新
春のご挨拶に変えさせていただきます。

今年も皆様方にとってす
ばらしい年になりますよう
心よりお祈り申し上げます、新
春のご挨拶に変えさせていただきます。



曹洞宗管長貌下より 「旭日重光章」受章の 小出学院長に表彰状



小出忠孝学院長・学長は、昨年の叙勲にて私学振興の功績顕著により「旭日重光章」(旧勲二等旭日重光章)を受章し、昨年十一月六日 宮中に参内「松風の閣」にて福田内閣総理大臣より一人ずつ勲記・勲章が伝達された。続いて「宮中豊明殿」にて天皇陛下の拝謁があり、陛下より親しくお祝いの言葉を賜った。この受賞に対し、曹洞宗管長貌下より表彰状及び記念品が小出学院長に授与された。



小出学院長・学長は昭和六年、小出有三初代愛知学院長の長男として愛知県に生まれる。一宮中、陸軍幼年学校、旧制第八高等学校を経て、三十年三月名古屋大学医学部を卒業。名大医学部第三内科にて、糖尿病の研究及び内科の診療に従事、三十八年三月名古屋大学より「糖尿病の成因に関する研究」にて医学博士の学位を授与された。

三十八年六月愛知学院理事に就任、若手経営者として法人運営に手腕を発揮、理事会・大学をリードした。さらに学院長・学長に就任後は、現在に至る二十年間、バランスの取れた強力なリーダーシップを如何なく発揮し、現在の大愛知学院を築きあげた。

同人の教育振興功績について、その概要を紹介する。

- 一戦後の新設大学を全国規模の総合大学へ飛躍発展
- ①時代の変化、社会のニーズに応え新学部・学科を増設、教育内容を充実。
 - ②高度経済成長に対応し、全学部の定員増を実施、学生数一万数千名の大規模大学に発展させ、十万人余の卒業生が産業界で活躍。
 - ③大学を名古屋市郊外の日進校地に移転、十五万坪の緑豊かな最高の教育環境と施設・設備を充実し、理想的なキャンパスを完成。
 - ④就任当時三学部(商・法・歯学部)学生数約二千八百人の大学を、現在八学部十七学科、大学院八研究科、学生数約二万二千名の全国規模の総合大学に発展。
 - ⑤国民の健康志向に対応し、歯学部・心身科学部、短大歯科衛生学科を増設。歯学部附属病院を日本一の内容を持つ中部の歯科医療のセンターとする。
- 二、中学・高校を光が丘へ新設、移転
- 六年一貫制の中学再開、愛知中学・愛知高校の男女共学制を実施し、共学の進学校として学園を活性化。
- 三、文科省関係「高等教育の改革発展」に積極的な取り組み
- ①大学審議会の委員として、高等教育改革に精力的に尽力
 - ②大学設置・学校法人審議会の委員として、大学・短大の新増設を審査、全国の私立大学・短大の発展に貢献。
 - ③教員養成審議会の委員として、教員の質の向上に貢献。
 - ④学校法人運営調査委員会の委員として、私立大・短大の健全な発展のため助言・指導を行い私学振興に貢献。
 - ⑤歯学教育改善会議、二十世紀医学・医療懇談会の委員として、歯学教育の改善と歯科医師の質の向上に尽力。
 - ⑥大学入試改善会議の委員長として、大学入試改革に取り組み、特に大学センター入試の英語リスニングテストの導入に貢献。
 - ⑦生涯学習審議会委員、私大研究高度化推進委員長、文科省政策評価有識者会議委員、大学評価・学位授与機構評議員会副会長等の要職を歴任、高等教育の改革・発展に貢献。
- 四、厚生労働省関係「歯科医師の質の向上に貢献」
- 医道審議会・歯科医師臨床研修部会長として、歯科医師の臨床研修制度を制定・充実、歯科医師の質の向上に貢献。
- 五、私立大学団体関係「私学の振興に貢献」
- ①私立学校振興・共済事業団の理事として、私学助成と私学教職員の福利厚生に向上に貢献。
 - ②大学基準協会の理事、副会長(財務担当)として、認証評価制度の導入など大学評価の進展に貢献。
 - ③日本私立大学協会の理事、常務理事より副会長に就任、約二十年に亘り私立大学をリードする代表の一人として私学振興に貢献。
 - ④私立歯科大学協会の理事、副会長を経て会長として十年、高額の入学時寄付金を廃止し教育充実費を設定、また歯科医師の過剰に対応し全歯科大学の入学定員千名削減を実施。
 - ⑤私立短大協会の常務理事、私立大学団体連合会、私学研修福祉会、私立大学退職金財団などの役員を歴任、私学振興に尽力。
 - ⑥愛知県では、私学経営者協会副会長、私学協会理事、私学振興事業財団監事として、地元愛知の私学振興に貢献。
- 六、その他
- 東海地区大学スポーツ連盟(野球・バレー、サッカー)の各会長として学生スポーツの振興に尽力。ラジオ、テレビの番組審議会の委員長として地域の文化、教育の興隆に貢献。国際交流では、ラオス国名誉総領事のほか海外六大学より名誉教授の称号を送られている。さらに大学開学五十周年を記念して、米国のクリントン前大統領を招聘、記念講演会を実施、前大統領に愛知学院大学名誉博士号を贈呈。
- 七、主な表彰歴
- 平成四年に藍綬褒章(教育振興功労)、短大教育功労者表彰(文部大臣)、愛知県教育功労者表彰(県知事)、私立大学協会役員永年表彰、大学基準協会永年勤続役員表彰等数多く受賞。
- 宮中行事「講書始の儀」「歌会始の儀」「天皇誕生日宴会の儀」に招かれ宮中に参内した他、春秋の赤坂御苑園遊会に招待されている。

短大部歯科衛生学科第1回 載帽式

平成19年11月10日 愛知学院大学楠元学舎110周年記念講堂において短期大学部歯科衛生学科第1回(2年生)の載帽式が行われた。

歯科衛生学科生への載帽式は歯科衛生専門学校以来の伝統ある式典で、入学以来1年半の講義・実習を終え、規定の履修単位を修了した学生に臨床実習並びに病院への登院を許可する本学科においては大事な式典である。臨床実習は、実際の歯科診療の場において患者さんを相手として行うもので、本学科学生には新しい覚悟で臨床実習にのぞむ、その区切りとなる新たなスタート地点に立つ重要な意味がある。

式は在校生からお祝いの花をもらい、宗歌の流れる厳粛な雰囲気のもとで学生1人ずつ名前を読み上げられ、小出忠孝学長からナースキャップを頭上にかぶせてもらい、学生全員の誓いの言葉のあと、小出忠孝学長、田中貴信附属病院院長からお祝いと温かい励ましの言葉をいただいた。約50名の保護者の皆様の参列を得て、学生生活のなかで心に残る式を終え、緊張もほぐれて笑顔で記念写真の撮影をした。学生にとっては、意義深く、思い出に残る載帽式であったと思います。これから約1年間の臨床実習には健康に気をつけて、実りあるように励んでほしい。



道元禪師のことば

(伊藤 秀憲)

おほよそ因果の道理、歴然としてわたくしなし、造悪のものは墮し、修善のものはのぼる、毫釐もたがはざるなり。

これは、「正法眼蔵深信因果」の中のことはです。私たちがなした善悪の行為を因とし、善いことを行えば善い結果、善い結果が得られ、悪いことを行えば悪い結果、悪い結果が得られるというのです。でも、善いことをしてい

ても苦しい生活を送り、悪いことをしていても、何らその報いを受けない者が現実にはいます。だから、因果の道理を否定する考えも現れてきますが、道元禪師はこれは誤りだといわれます。現世で報いを受けること

もあり、次の生で受けることもあり、次々生以後で受けることもあるのです。いずれにしても、「因果の道理、歴然としてわたくしなし」、「わたくし」つまり自分の勝手にできるものではないのです。

名古屋国税局特別講演

名古屋国税局課税第一部長による特別講演が行われる

去る11月13日(火)午後1時30分から3時まで、12号館G105教室において、名古屋国税局課税第一部長の青木隆氏による「財政、税制の現状と税務行政の課題」についての特別講演が行われた。この講演は、毎年11月11日から17日までの1週間を「税を考える週間」と定め、行事の一環として、近い将来社会人となる大学生に対し、名古屋国税局が講演を行い、広く税についての理解を深めていただくことを目的としている。当日、田畑康人商学部長の冒頭の挨拶のあと、特別講演が行われた。今回は経営学部飯島康道先生の原価計算論Ⅱと向伊知郎先生の国際会計論Bの学生194名とその他、一般学生が多数出席し熱心に聴講した。



愛知学院大学

「食事を制するものは人生を制する」
食事は学力向上の妙薬になるか

食事の大切さを各分野の研究者が講演



食事の大切さを知って！

愛知学院大学「学生・保護者、社会人のための講演会」が十二月九日(日)楠元学舎百十周年記念講堂で、四百名を超える参加者のもと、五名の研究者が「食事を制するものは人生を制する」―食事は学力向上の妙薬になるか!?―と題して講演。「楽しく食べる食事は学力向上に寄与し、認知症の予防に役立つ」と述べ、「食事を粗末にする生活はぜひ避けなければならない」ことを強調した。

本講演会は、昨年度文科省から発表された全国学力・学習状況調査で、「毎日の朝食摂取で正答率が高くなる」ことが示された。これを受けて、運動と栄養を研究している心身科学部健康科学科および来年度開設の健康栄養学科、食料の薬理効果の薬学部、咀嚼の歯学部など、愛知学院大学の総力を上げて、「食事の大切さ」を社会に知ってもらうための講演会を開催した。聴衆者からは、「食事の大切さ」を食料から能への効果がよく理解できた。大学の先端的研究を

開けることがうれしなどの賛美の声が多数寄せられた。大学の地域貢献の大切さを再認識させられた講演会であった。

各講演者の概要を次に示す。名古屋大学大学院大澤俊彦教授は「健康維持に必要なパワー」を抗酸化食品の有効性について、本学・薬学部山村恵子教授は「多品目食料の必要性」を食料の薬理効果から、歯学部伊藤裕教授は「咀嚼の大切さ」を健康・学習への波及効果を、わが国の脳科学者の第一人者である元京都大学霊長類研究所所長・日本福祉大学久保田競教授が「食事と脳活性化」について美味しく、楽しい食事と脳の健康と若さ維持について、最後に高田短期大学鷺見裕子講師が「脳を活性化させる簡単レシピ」楽しく、美味しい料理の調理法について解説した。

忙しい受験勉強や仕事合間の「頭休め」ならぬ「頭の箸休め」として、学生・保護者、社会人の皆様には有用な一日であったことであろう。なお、本講演会の内容は本学のホームページで閲覧できます。

http://www.aichi-gakuin.ac.jp/



国際研究センターが国際シンポジウムを開催

去る11月21日(水)午後1時半より第13回国際シンポジウムは日進キャンパス学院会館の会議室にて開催された。カナダ・ブリティッシュコロンビア大学ロースクールのアンソニー・ヒックリング名誉教授が「最近のカナダ労使紛争処理並びに結社の自由論の展開に関する考察」と題する講演をされた。このシンポジウムはカナダ政府のカナダ研究助成金プログラムの後援を受け、日本とカナダの学術交流と文化教育促進を目的に本学国際研究センターが毎年開催するものである。研究会ではヒックリング名誉教授は本学法務研究科の学生や教員を中心とした聴講者に二時間近く終始穏やかな雰囲気の中で講演された。シンポジウム終了後、ヒックリング名誉教授が本学の座禅堂と百周年記念講堂を興味深く見学され、「悠久な歴史と仏教伝統を持つ愛知学院大学で講演できたことは大変有意義である」と述べた。

第5回 全学FD研究会 テーマ「教育力を高める試み」

全学FD委員会は「学生に分かり易い授業」をテーマにこの5年間、研究授業参観、学生授業アンケート、全学FD研究会の開催を3本柱として活動に取り組んでいる。第5回となった全学FD研究会が、平成19年11月12日17時から、日進キャンパス12号館G105教室を会場として開催された。

研究会は、加藤勇夫全学FD委員長より、今回の研究会について主旨の提示に引き続いて、メディアの利用方法や教育の提示に引き続いて、メディアの利用方法や教育の現場での取り組み方を中心に報告がおこなわれた。それぞれの報告後の質疑応答では、参加者から活発な質問がなされた。教職員・学生約60名の参加者にとって、これからの「eラーニング」の手法を取り入れた授業の在り方を考えるうえにたいへん有意義な研究会になったものと思われる。

司会 商学部 平野 勝朗 准教授

報告1 「Web Campusを利用したICT教育」

学生の履修登録用サイト、Web Campusを利用した授業支援について

総合政策学部 清水和美 教授

報告2 「TIESを利用したICT」

帝塚山大学を中心とするeラーニングシステムを6大学(本学含む)が

共同利用する授業(平成16~20年度 文科省サイバーキャンパス整備事業)

商学部 吉田聡 准教授

報告3 「アーカイブ連携型自立学習支援システム」

本学歯学部が学部教育から卒業・生涯教育まで利用できる

システムの構築について(平成19年度文科省 現代GP取得)

歯学部 前田初彦 教授

第1回 大学院FD講演会 ブッタの成道について
―『般若経』を通して『建学の精神』を考える―

文学研究科 大野 栄人

12月8日は、ブッタが成道された日です。ブッタの成道の意義を、『般若経』の立場から「建学の精神」に充当させて考えていきたいと存じます。

建学の精神「行学一体・報恩感謝」の「行」とは、六ハラミツを自分の生き方とすることです。①布施は何も所有しない。②持戒は潜在意識に残る行為をしない。③忍辱は自我の我が儘を許さない。④精進は自己救済に生きる。⑤禅定は自己の身心を統括するために坐禅をする。

「学」とは、六ハラミツの⑥智慧をいいます。人間の誰にも万有の先天的能力・智慧が与えられています。この智慧を開発する生き方をするのです。

私どもの生きている現実、「色即是空・空即是色」といわれるように、刹那生滅の中に生きています。生きるための様々な条件が無償で与えられ、今こうして生かされています。自他に対して、「報恩感謝」のできる自己づくりをして頂くことがブッタの成道に他なりません。

愛知学院と中小企業基盤機構の「共同講座」について

商学研究科長 酒井 邦雄

本学と中小企業基盤機構の「共同講座」が始まりました。第1回の講座は10月19日に栄サテライトセンターで、モア経済研究所代表取締役社長日野眞朗氏による「企業戦略とマーケティング」でした。企業における経営戦略の重要性とマーケティングのとりえ方を豊富な事例をもって説明し、受講者にも分かりやすく面白かったとの評判でした。第2回の講座は日進キャンパスの学院会館で、11月19日に武田マネジメントシステム代表取締役の武田哲男氏の「真の顧客満足」を理解する」でした。氏によれば、通常よく「顧客満足」といわれるが、「企業満足」の場合が多い。「真の顧客満足」とは、顧客第一主義で、顧客の心の底に潜んでいるニーズを提供することである。そのためには、企業理念が明確で、それをいつも実行し、顧客の不満を知り、顧客の高い支持を取り付けることである。武田氏の講義も品質や日付の不当表示が頻発している折、説得力のあるものでした。両氏の講義は豊富なコンサルタント経験に裏打ちされた、正に実学であった。

第4回 英語と日本語によるスピーチの祭典がおこなわれる

さる12月1日(土)日進キャンパスの学院会館1階ホールにおいて、第4回英語と日本語によるスピーチコンテストが実施された。主催愛知学院大学国際交流センター、後援(財)愛知国際交流協会、中日新聞社・日進市国際交流協会・長久手町国際交流協会・(株)熊谷組による。

当日、国際交流センター事務長の開会宣言のあと、小出龍郎短期大学部副学長・引田弘道国際交流センター所長の挨拶があり、ひきつづき木村英憲英語部門審査委員長から審査委員紹介(英語部門)とルール説明があり12時40分から英語部門でスピーチがおこなわれ、16名の日本人学生が「いのちを考える」をテーマに英語でスピーチが行われた。小休憩後、13時50分から草間秀三郎



終了後、学院会館2階グランドで英語による寸劇と映画の上映後、懇親会がおこなわれ、引田弘道国際交流センター所長挨拶の後、各賞の表彰式がおこなわれた。各賞は左記の通り。

愛知学院大学学長賞
山本穂(文4年)
薩日郷(経3年)
国際交流センター所長賞
奥村文野(法4年)
白錦中(大学院1年)
中日新聞社賞
森みか(文2年)
李知せい(経2年)
長久手町国際交流協会会長賞(英語部門)
大脇麻美(心2年)
日進市国際交流協会会長賞(日本語部門)
王薇(経3年)
ひきつづき木村英憲・草間秀三郎両審査委員長の講評のあと、松原敏浩研究科長の乾杯の挨拶の後、なかなか懇親会がおこなわれた。

大本山総持寺安居説明会が実施される

去る12月11日(火)1時45分より日進キャンパス本部棟3階第2会議室において安居説明会がおこなわれた。はじめに本学内田友宏事務局長のあいさつの後、曹洞宗大本山総持寺後堂盛田正孝氏により安居説明がおこなわれた。当日14名の掛塔志願者が参加して熱心な質疑応答がなされた。



後藤滋巳教授(歯学部歯科矯正学講座)が2007年 Annual World Dental CongressでFDI/UNILEVER POSTER AWARDを受賞

この度、本学歯学部後藤滋巳教授を代表とする研究チーム(八木橋敬介、宮沢健、戸田健)が2007 Annual World Dental Congress in DubaiでFDI/UNILEVER POSTER AWARDを受賞された。演題は「Repair of articular cartilage using DDM」であり、今回170件のうち6件が採用された。FDIは歯科医業の科学と技術を発展させ、全ての人々により良い口腔保健を提供する目的で設立され、全ての境界を越えて組織された国際歯科連盟である。今後、歯科矯正学講座のさらなる活躍が期待される。



短期大学部歯科衛生学科稲垣幸司教授が日本禁煙学会研究助成金対象研究に決定

本学短期大学部歯科衛生学科稲垣幸司教授に2008年度日本禁煙学会研究助成金が日本禁煙学会の理事会を経て決定された。研究テーマは「歯学部・歯科衛生学科学生に対する禁煙教育および禁煙支援に関する研究」

今回9件が応募され、そのうち5件が決定された。稲垣幸司教授の今後ますますの活躍が期待される。



留学生別科スピーチ・コンテストおこなわれる

平成十九年十二月十八日、学院会館1階において第6回留学生別科スピーチコンテストが行われ、11名全員が個性あふれるスピーチを行った。

スピーチには留学生生活や日本語学習の大変さ、自分を支えてくれた人々への感謝、将来への決意、人生をどう生きるかなど、別科生一人ひとりの心が素直に反映されていて、深く聴衆の心を打つものがあった。

学長賞に王森さん(中国)、別科長賞に蔣林林さん(中国)、優秀賞にオヘリオ・エミリアさん(フィリピン)、特別賞(会場賞)に張桂華さん(中国)が選ばれた。

会場には留学生の保証人の方々、日頃から

交流のある長久手町国際交流協会日本語教室やビボウファミリークラブなどの地域の方々、そして本学の先生方が来てくださり、終始暖かい雰囲気の中でスピーチ・コンテストであった。コンテスト終了後、学院会館2階で出席者のほぼ全員が参加しての昼食会が開かれ、賑やかな歓談が続いた。



平成20年度(第17回)外国人来日研究助成採択(財団法人 大幸財団)

共同研究主題	アジア地域の都市エコシステム・モデルの研究：環境と開発の調和および安定性の探究			
国内研究者所属機関・氏名	愛知学院大学 総合政策学部 教授 眞継 隆			
来日研究者所属機関・氏名	School of Planning and Architecture教授 サハ ショパン クマール			
国籍・年齢	インド 59才	滞在期間	H20.4.1~H21.3.31	助成額 275万円

鈴木千代奨学金伝達式が行われる

去る10月20日(土)午前11時より、楠元学舎学院長室において、外国人留学生のうち僧籍を有する者の、経済的負担の軽減を目的とした鈴木千代奨学金伝達式が実施された。今回の対象者は中国出身の留学生で文学研究科宗教学仏教学専攻博士課程後期1年生の林 徳立(リン デーリ)さん。当日、引田弘道国際交流センター所長、福島金治文学研究科主任、佐藤悦成指導教授に出席していただき、小出忠孝学長より奨学金30万円が授与された。林 徳立さんの大学院での研究に大いに役立てていただきたい。

去る11月30日(金)12時20分より13時まで日進キャンパスにおいて地震災害避難訓練が実施された。当日、12時20分に学内放送で地震発生の放送と同時に約三千名の学生・教職員が第1・2・3避難場所へ避難を開始し、12時40分に無事避難訓練が終了した。

避難訓練終了後、尾三消防署員によるAEDの使用説明が各避難所でおこなわれ、最後に黒神聴学生部長、宝多国弘キャリアセンター就職部長、竹市良成入試センター部長よりそれぞれ講評があり、13時にすべての訓練が終了した。常日頃から地震に対するモチベーションを高め、いつきてもおかしくない東海大地震から自分の身の安全を守りましょう。



避難所の第2クラスにて

08年 就職戦線スタート

今年度の就職戦線は昨年10月からスタートをきりました。

企業の経営環境的には原油高などの影響がありますが、現在の採用戦線としては相変わらず「売り手市場」になっています。景気の先行き不透明というメディア報道もありますので今後の動向が見守られます。



3年次の就職活動において、学生が陥りやすいことのひとつが、パソコン上のエントリーシートをした段階で安心してしまいう点です。エントリーシートは、プレエントリー（ただ単に企業側に対して氏名や大学名、住所等の連絡先を登録）と、エントリー（志望動機、自己PR、学生時代に打ち込んだことなどを細かく打ち込む）とに分けられます。プレエントリーは簡単にできますので百社以上でもすぐに登録できますが、その後のエントリー（本番）ではなかなかそういうわけにはいきません。特にそれぞれの企業に対する志望動機を作る場合には、ただ「御社の〇〇の点が気に入りました。」や「説明をされた〇〇様に惹かれました。」だけでは非常に薄っぺらなものになってしまいます。

この志望動機は一人ひとりの学生が頭脳をフル回転させて作っていくものなのです。キャリアセンターではこの志望動機や自己PRなどを作っていくうえで、考え方を皆さんにレクチャーしていきます。そのためにエントリーシートの添削を行ったり、昨年の11月からはグループディスカッションの練習や面接の練習をしたりして3年生の皆さんのバックアップをしてきました。

3年次の就職活動において、学生が陥りやすいことのひとつが、パソコン上のエントリーシートをした段階で安心してしまいう点です。エントリーシートは、プレエントリー（ただ単に企業側に対して氏名や大学名、住所等の連絡先を登録）と、エントリー（志望動機、自己PR、学生時代に打ち込んだことなどを細かく打ち込む）とに分けられます。プレエントリーは簡単にできますので百社以上でもすぐに登録できますが、その後のエントリー（本番）ではなかなかそういうわけにはいきません。特にそれぞれの企業に対する志望動機を作る場合には、ただ「御社の〇〇の点が気に入りました。」や「説明をされた〇〇様に惹かれました。」だけでは非常に薄っぺらなものになってしまいます。



面接と同時に行っていくのがSPIに代表される筆記試験です。本学の学生が不得手とするのは、数的処理です。これは中学から高校（数Iまで）にかけて習ったものの中から作られた問題です。こちらは練習をして「慣れる・思い出す」しか方法はありません。書店で問題集を買って自分の実力を試してみてください。

エンタリーシートが通過すると、今度は実際の面接が始まっていきます。多くの学生がエンタリーする企業は、面接としてグループディスカッションやグループ面接を行った後に個別の面接になります。キャリアセンターではこれらの面接対策をしていますので利用してください。



1月31日（木）にこれから突入する就職活動のための「出陣式」を行います。予定としては、気合の入るセレモニーや就職活動時のマナー講座、これからの就活についての留意点などをお話します。

3年生の皆さんは、キャリアセンターを情報収集や、就職相談の場として大いに活用してください。

皆さんの検討を祈っております。

キャリアセンター 課長 中尾 猛

就職活動を修了した4年生が3年生の就職活動の疑問点や、就活の方法などを親身になって教えてくれています。さまざまな業界から内定をもたらした4年生が、入れ替わりでキャリアセンターのSAコーナーで相談を受け付けていますのでぜひ利用してください。

企業セミナー開催
学内で企業セミナーを開催しました。11月10日（土）、17日（土）、12月1日（土）はメジャー企業セミナーと銘打ち3日間、計87社の企業・機関にお越しいただきました。この3日間、延4千名を超える学生が参加しました。学生からは学内で企業研究ができるので嬉しいという声が多く寄せられました。この後、12月8日（土）、15日（土）にも企業セミナーを開催しました。また、2月6日（水）も8日（金）にも企業セミナーを開催する予定をしていますので参加の準備をお願いいたします。

4年生SA（シニア・アドバイザー）とCSC（キャリアサポートクラブ）が活躍
就職活動を修了した4年生が3年生の就職活動の疑問点や、就活の方法などを親身になって教えてくれています。さまざまな業界から内定をもたらした4年生が、入れ替わりでキャリアセンターのSAコーナーで相談を受け付けていますのでぜひ利用してください。

経営学部学生の仮想企業がダブル受賞

2007年11月18日（日）、（特活）アントレプレナーシップ開発センターが主催する「バーチャルカンパニー・トレードフェア2007」が京都大学で開催されました。経営学部学生の仮想企業「UpKeep様」が、「プレゼンテーション優秀賞」及び「京都工業会賞」の2部門で第一位を獲得しました。プレゼンテーション優秀賞は「コミュニケーション力、事業が生み出す社会的貢献度、外部資源の活用で特に優れていたこと」、京都工業会賞は「物づくり方針において新しい発想があったこと」が評価されたものです。

微生物環境技術研究所（平井孝志・主幹）と武田薬品（武田孝・代表）の協力を得、併せて実習授業で半年にわたり努力した成果であることを報告いたします。（文責&指導者・鶴岡宏成）



日進学舎バリアフリー工事

今回、3.7号館の耐震工事と関連し、教室の引き戸改修、ならびに建物入り口の自動扉改修の工事を行っています。

現在日進学舎では、計28箇所（計画含む）の出入りに自動扉が設置されています。その内、今回の工事で14箇所を整備中です。

東西の軸でもある、本部棟～3号館～9号館～14号館へのアクセスを3.9号館1階の渡り通路を車両通行止めとして、通路をフラットにし自動扉化することでスムーズな動線の確保ができました。又、外部扉が常時開放とならないため、冷暖房のエネルギー負荷の低減にもなると考えています。今後は、春休み期間中に本部棟～3号館渡り通路のバリアフリー工事を整備する予定です。



「公認会計士試験に合格して」

平成18年3月商学部商学科卒業 鬼頭 卓生



昨年11月に平成19年度公認会計士論文試験の合格発表があり、無事に合格証書を受け取ることができました。私が、合格するまで勉強を続けたのは、家族をはじめ、周りの人々の応援や励ましがあったおかげだと感謝しています。そこで、私が公認会計士を志したきっかけと、合格までの軌跡を簡単にお話ししたいと思います。

商学部に入学した時から、卒業後はプロフェッショナルとして活躍したいと考えていました。商学部で会計に関する専門科目を勉強していたことから、公認会計士や税理士といった職業は常に意識していたのですが、安易な気持ちで挑戦できる試験ではありません。チャレンジしたい気持ちと躊躇する気持ちで、大学3年生の時は非常に迷っていました。商学部では、3年時に演習（ゼミナール）が始まります。私は、市野ゼミを選び、先生には頻りに相談にのっていただき、プロフェッショナルとして働くことの魅力などを教えていただきました。また、マーケティング論の加藤勇夫先生は、いつもお会いしても笑顔で応援してくださり、貴重なアドバイスと心からの

励ましに何度も勇気づけられました。私は、商学部の先生方の後押しもあり、公認会計士試験受験を決断しました。大学3年生までに卒業に必要な単位はすべて取得していたので、4年生の時は卒業論文以外のすべての時間を受験勉強に充てました。ゼミの仲間や周りの友人が、次々と就職先が決定するなか、先の見えない勉強を続けることに不安を感じることがありましたが、絶対に合格して会計士になるという強い気持ちで勉強を続けました。大学を卒業後は大学院に進学し、その年に初めて受験しました。結果は、残念ながら不合格でした。しかし、努力を続ければ合格できるという手応えを感じることができ、受験をやめようとは全く思いませんでした。そして、翌年の2度目の試験で合格することができました。

最後となりましたが、在校生の皆さんは、資格試験に限らず、できるだけいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。私が公認会計士試験に合格できたのも、振り返れば大学3年生の時の決断があったからです。何事にもリスクはつきものですが、しっかりと情報収集をして、計画を立ててチャレンジすれば、きっと結果はついてきます。ぜひ、後悔することのない学生生活を過ごしてください。

公認会計士になるには、一定の実務経験を積み、その後の終了審査に合格することが必要です。試験合格後、私は監査法人に勤務し、日々実務を学んでいます。まだ、公認会計士への道は長いですが、公認会計士になることだけを目的とするのではなく、将来を見据えることで、充実した日々を過ごしていきたいと思っています。

平成19年度 クラブ優勝祝賀会開催

平成19年度クラブ優勝祝賀会が12月4日に開催された。会場となった日進キャンパス・学院会館には、この春から秋まで(一部に前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を収めたことでの日の招待をうけることとなったクラブの部員が集まった。また、大学後援会本部役員や教職員・来賓・招待クラブ顧問監督などが多数来場し、にぎわうこととなった。



招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海大会といった大会において優勝した団体、個人の部では団体の部と同等の基準に加え、最優秀選手賞などの表彰を受けた者・それぞれの活動において顕著な成績を収めた者などから選出され、今年度においては合計41団体、242名(うち個人招待者136名、および歯・薬学部の表彰クラブ12団体・個人招待者94名含む)が招待を受けた。



豪ノースサイド・クリスチャン高校生徒 日進キャンパスを見学

去る12月17日午後オーストラリアのノースサイド・クリスチャン高校の生徒5名、教員1名と愛知高校の先生・学生合わせて19名が大学の日進キャンパスを訪れた。愛知高校は5年前から毎年ブリスベン郊外にあるノースサイド・クリスチャン・カレッジに語学研修団を派遣している。今度受入れた5名の学生は当該カレッジ附属高校の生徒で、愛知高校滞在中に是非愛知学院大学の見学を実現したいと要望した。ご一行は大学の座禅堂、スポーツセンター、百周年記念講堂を訪れ、興味深げに説明を聞いたり、記念写真を撮ったりした。「短い時間ですが、とても楽しかった」、「暖かい歓迎有難うございます」とオーストラリアの生徒達は日本語で訪問の感想を語り、およそ2時間の見学を終え日進キャンパスを後にした。



経営学部4年 加藤千尋さん 全日本学生拳法個人選手権大会 (女子の部)優勝



二〇〇七年10月28日(日)札幌島スポーツセンターにて開催された「第23回全日本学生拳法個人選手権大会(女子の部)」において、本学経営学部国際経営学科4年加藤千尋参段が見事優勝した。試合は三本勝負で行われ加藤選手は、1回戦をリードされ、2・3回戦を順調に勝ち進み、順々決勝は尾崎選手(武蔵中央大学)を判定で退け、準決勝は、渡辺選手(参段、名古屋学院大学)を2-0で破り、決勝に進出した。決勝戦の相手は、順々決勝で山下選手(武蔵中央大学)と対戦した。

準決勝で平選手(武蔵中央大学)を撃破し順調に勝ち進んだ最有力優勝候補の、中川選手(参段、関西大学)が進出してきた。決勝戦は白熱した試合になり加藤選手が一本先取のまま両者一歩も退かず時間切れとなりその瞬間加藤選手の優勝が決まった。そして、最有力優勝候補であった中川選手を破り、選抜出場57選手の頂点に立ち、二〇〇七年大学女子学生チャンピオンの栄冠を勝ち取った。

加藤選手は、経営学部の特待生であり、文武に長けた模範学生である。来春社会人となるが、今年三位に終わった全日本拳法総合選手権大会一般女子の部を制覇する活躍が期待される。

健康学科スポーツ祭が 盛大に実施される



十一月五日(月)に、「健康科学スポーツ祭」が開催され、約三百五十名の健康科学科学生・教員が参加した。女子バレー部主将森田さん、水泳部の山本さんを中心に、健康科学科の学生自らが主体となって実行委員会をつくり、高田准教授をはじめ教員はサポートするという形で行われた。テーマは「健康2に運動、3、4がなくて5に笑顔」。日頃、健康や運動スポーツについて勉強している学生が、もう一度、健康や運動・スポーツの重要性や楽しさを実感し、笑顔が絶えない学科になろうという主旨で行われた。さらには、健康科学科が他学科の目標となる学科になりたいという思いが込められている。学年対抗で行われ、各学年お揃いのTシャツに身を包んだ。まず開会式では健康科学科らしく全員でエアロビクスを行った。午前中、サッカー、バスケット、バレーボール、ソフトボール、レクリエーションの種目別に分かれ、各競技を行った。



午後には全員が第1グラウンドに集まり、綱引き、障害物リレーが行われた。結果は4年生が優勝、3年生が2位、2年生が3位、1年生が4位となり、学年の結束力が勝利の決め手となった。各会場は多くの歓声に包まれ、真剣さの中にも大きく健康な笑いが起こった。健康科学科にとって笑顔の絶えない1日であった。

鉄人Jリーガー 秋田 豊引退



サッカー部長 田畑 康人

本学サッカー部出身のJリーガーで、元日本代表の秋田豊選手が今限りで引退することになった。Jリーグ発足の年、1993年本学(法)卒業と同時に鹿島アントラーズに入団。ジーコとの出会いが彼を大きく成長させた。Jリーグ初年前期チャンピオンを始め、数々のタイトル獲得に貢献、1998年W杯フランス大会には全3試合にフル出場、2002年W杯日韓大会においてもトルシエ・ジャパンの代表にも選ばれた。2004年からは地元名古屋グランパスに優勝請負人として移籍。そして2007年からは京都サンガに移った。足掛け16年間の選手生活の中でJ1通算319試合出場は2007年5月にグランパス藤田に抜かれるまで最多記録であった。

秋田豊は本学サッカー部時代においてもキャプテンを務めていたが、決して才能に恵まれていたわけではなく、「努力の人」であった。学生時代は本学と中村区の自宅を走って往復したり、練習後の筋力トレーニングにも目を見張るものがあった。また、JリーグのシーズンオフにはAGUSスポーツセンターを訪れ、自主トレに励んでいた姿も思い出される。

秋田豊が愛知学院の名を全国に知らしめ、機会あるごとに本学に協力してくれたことに対し、衷心より感謝すると同時に、明日の日本サッカー界を担う優秀な指導者を目指し新たな道を着実に歩んでくれることを心から願う次第である。夢をありがとう、秋田君!!